

ホースト・アンサンブル金沢

富山特別公演 with 合唱団OEKとやま

指揮
山下一史

Kazufumi
Yamashita
CONDUCTOR

ソプラノ
光岡 暁恵

Akie
Mitsuoka
SOPRANO
© Flavio Gallozzi

ソプラノ
今野 沙知恵

Sachie
Konno
SOPRANO

テノール
渡辺 康

Yasushi
Watanabe
TENOR

バス
伊藤 貴之

Takayuki
Ito
BASS

© ai ueda



合唱
合唱団OEKとやま
Chorus OEK Toyama

2024 8/25 SUN 15:00開演 富山県民会館

主催：(公財)石川県音楽文化振興事業団、合唱団OEKとやま
共催：北日本新聞社 後援：とやま音楽文化協会

助成：



文化庁文化芸術費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

Program

プログラム

モーツァルト：

交響曲 第36番 ハ長調「リンツ」K.425

W.A.Mozart : Symphony No.36 in C major "Linz" K.425

第1楽章：アダージョ～アレグロ・スピリトoso Adagio ~ Allegro spiritoso

第2楽章：アンダンテ Andante

第3楽章：メヌエット Menuetto

第4楽章：プレスト Presto

休憩

モーツァルト：

大ミサ曲 ハ短調 K.427(417a)

W.A.Mozart : Mass in C Minor K.427(417a)

第1曲：「キリエ」 Kyrie

主よ、あわれみ給え

第2曲：「グローリア」 Gloria

Gloria in excelsis Deo

いと高き天には、神に光栄あれ

Laudamus te

われらは主をほめたたえ

Gratias agimus tibi

われらは主の偉大な光栄のために

Domine Deus

主なる神よ、天の王よ

Qui tollis

世の罪をのぞき給う主よ

Quoniam tu solus

御身は唯一の聖なる方

Jesu Christe - Cum Sancto Spiritu

イエス・キリストよ - 聖霊とともに

第3曲：「クレド」 Credo

Credo in unum Deum

私は唯一の神を信じる

Et incarnatus est

聖霊によって宿り

第4曲：「サンクトゥス」 Sanctus

聖なるかな、万軍の神なる主

第5曲：「ベネディクトゥス」 Benedictus

ほむべきかな、主の御名によって来給う方

Program Note

プログラムノート

飯尾 洋一(音楽ジャーナリスト)

◎モーツァルト：交響曲 第36番 ハ長調「リンツ」K.425

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756～1791)の数ある交響曲のなかでも、「リンツ」には独特の手触りがある。色にたとえるなら黄金色、季節にたとえるなら秋。

おそらくその主たる要因はオーケストレーションなのだろう。木管楽器の編成はオーボエ2本、ファゴット2本のみ。フルートとクラリネットを欠き、濃厚さが前面に出ている。第2楽章では緩徐楽章としては珍しく、トランペットとティンパニが用いられ、太くくつきりとした響きを作り出す。

リンツはオーストリアにおけるウィーン、グラーツに次ぐ第3の都市。モーツァルトは1783年にこの街を訪れた。ここでモーツァルトはトウン伯爵から歓待を受けて演奏会を開くことになるが、あいにく手持ちの新作がない。そこでわずか4日間ほどでこの交響曲第36番「リンツ」を書きあげたという。

第1楽章：アダージョ～アレグロ・スピリトソ … 荘重な序奏が置かれ、続く主部はエネルギッシュ。

第2楽章：アンダンテ ……………… しなやかな主題で開始される緩徐楽章。

第3楽章：メヌエット ……………… 弾むようなメヌエットの間にひなびたトリオが挟まれる。

第4楽章：プレスト ……………… 茶目っ気のある主題で始まる祝祭的なフィナーレ。

◎モーツァルト：大ミサ曲 ハ短調 K.427 (417a)

モーツァルトがリンツを訪れたのは、故郷ザルツブルクへの里帰りからウィーンに戻る途中のことだった。なぜ里帰りをしたかといえば、父親に新妻コンスタンツェを紹介するため。1782年にモーツァルトは父親の許しを得ずに、コンスタンツェと結婚した。その翌年、いわば事後承諾を得ようと父親に会いに行ったのである。

その際、モーツァルトはザルツブルクの教会のために新作のミサ曲を書いた。初演時のソプラノ独唱を務めたのはコンスタンツェ。モーツァルトは妻が立派な歌手であることを父親に見せたかったのだろう。ただし、全曲の完成が間に合わなかったため、聖ペテロ大修道院付属教会での初演は一部だけに留まった。作品は未完のままに終わり、「クレド」の後半と最後に置かれる「アニュス・デイ」は残されていない。現在では「クレド」の一部を補筆したうえで、「キリエ」から「ベネディクトゥス」までを演奏することが一般的だ。すなわち、第1曲「キリエ」、第2曲「グローリア」、第3曲「クレド」、第4曲「サンクトゥス」、第5曲「ベネディクトゥス」となる。

なお、この曲は後年にオラトリオ「悔悟するダヴィデ」に転用されている。

Chorus Member

合唱団出演メンバー

合唱団OEKとやま

◆ソプラノ

村上 麻理 谷崎キミ子
岩竹 幸絵 谷崎 千紗
大井 陽子 谷崎 千鶴
岡田 美雪 千葉 多恵
岡本 洋子 塚本 浩子
金井 英子 中村はじめ
川尻久美子 羽岡 典子
木下 悦子 藤村千賀子
熊野志津子 牧野 恵子
慶松能里子 宮東智香子
坂口 佳子 山崎 忍
坂本 雅子 山本 裕美
武部由貴美

◆アルト

麻島 利子 木村まゆみ
荒川 祥子 小島 久美
飯田三千代 斎藤きよみ
上埜 直子 坂田 愛子
石黒 晶子 清水美和子
井上 澄子 高木 茂子
上田富士恵 土肥 千寿
梅村 夕子 戸田 圭子
岡本 智子 豊岡 聡子
奥野 知子 仲井 麗子
楠谷 道子 中川 律子
笠置由美子 平嶋 康子
片山美富里 松井 真理
北村由理子 村椿 伸子

◆テノール

井内 学
上野 武蔵
津田 朋信
廣野 正和
牧 重和
三羽 康嗣
山崎 勝幸

◆バス

麻島 宗義
上田 慎一
沢田 猛
谷崎 修一
鶴木 宏安
野入 豊光
松井 輝

◆合唱指揮

内山 太一
谷崎 修一

◆ピアニスト

村上 麻理

東京混声合唱団

◆ソプラノ

大沢 結衣
松崎ささら

◆アルト

小巻 風香
小林 音葉

◆テノール

千葉 弘樹
平野太一朗

◆バス

下西 祐斗
牧山 亮

Profile

プロフィール

山下一史 | 指揮 | Kazufumi Yamashita, CONDUCTOR

桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。カラヤンが亡くなるまで彼のアシスタントを務める。その後ヘルシンボリ響首席客演指揮者を務めた。日本国内ではN響を指揮してデビュー、以後主要オーケストラに定期的に出演、好評を得ている。これまでにアンサンブル金沢プリンスバル・ゲスト・コンダクター、九響常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管常任指揮者ならびに名誉指揮者、仙台フィル指揮者ならびに正指揮者を歴任。シューマン作曲歌劇「ゲノフェーファ」日本初演など、オペラ、オーケストラの両面においてますます注目を浴びている。千葉交響楽団音楽監督、東京藝術大学音楽学部指揮科教授。

2022年4月より愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者に就任。



光岡暁恵 | ソプラノ |

Akie Mitsuoka, SOPRANO

昭和音楽大学卒、同大学院修了。2004年文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてイタリア、ミラノに留学。第5回静岡国際オペラコンクール第1位(日本人初)・三浦環賞・オーディエンス賞の3冠を受賞。2006年10月藤原歌劇団公演「ランスへの旅」のフォルヴィル伯爵夫人役で藤原歌劇団にデビュー、以降同公演「ルチア」「夢遊病の女」「オリィ伯爵」「ラ・トラヴィアータ」等に主演し絶賛を博している。今後の更なる活躍が期待される新星ベルカントソプラノ。藤原歌劇団団員。



今野沙知恵 | ソプラノ |

Sachie Konno, SOPRANO

桐朋学園大学音楽学部声楽専攻を首席で卒業、同大学研究科を修了。新国立劇場オペラ研修所第14期修了。平成26年度文化庁在外派遣研修員。第85回日本音楽コンクール声楽(歌曲)部門第3位受賞。平成30年度五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。これまでにイタリアとドイツにて研鑽を積む。新国立劇場「修道女アンジェリカ」ドルチーナ役、日生劇場「魔笛」パバゲーナ役、ヘンデル「メサイア」やバッハ「マタイ受難曲」等。



渡辺 康 | テノール |

Yasushi Watanabe, TENOR

新潟県出身。国立音楽大学卒業。イタリア国立パルマ音楽院修了。藤原歌劇団「ジャンニ・スキッキ」、「コジ・ファン・トゥッテ」、日本オペラ協会「ニングル」、「紅天女」等に出演。モーツァルト「レクイエム」ジュスマイヤー、レヴィン各版やベートーヴェン「第九」等のコンサートソリストを務める。藤原歌劇団正団員。日本オペラ協会正会員。日本ロッシーニ協会会員。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部講師。



伊藤貴之 | バス |

Takayuki Ito, BASS

名古屋芸術大学卒業、同大学大学院修了。奨学金を得てミラノで研鑽する。第48回日伊声楽コンクール第2位や第41回イタリア声楽コンクール金賞など受賞歴多数。近年は新国立劇場「アイダ」国王、日生劇場「マクベス」バンクォー、藤原歌劇団「ファウスト」メフィストフェレス役などで出演しいずれも好評を博す。その他にベートーヴェンの第九や宗教曲のソリストとしても活躍している。平成24年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞受賞。藤原歌劇団団員。



合唱団OEKとやま | 合唱 |

Chorus OEK Toyama



平成7年8月に「合唱団おおやま」を結成、平成8年8月に第1回演奏会を開催。以来毎年夏に富山市大山文化会館においてオーケストラ・アンサンブル金沢との共演による演奏会を開催してきた。この演奏会では、ラター、ベルト、ドブロゴス、佐藤賢太郎、ヤイロ、ミーラーなど、現代作曲家のミサ曲を数多く取り上げてきた。平成29年、富山県民会館で大編成の合唱団によりヴェルディのレクイエムを演奏するに当たり、「合唱団OEKとやま」と名称を改めた。今回で通算28回目の演奏会となる。なお、今回の合唱には日本を代表するプロ合唱団である東京混声合唱団の精鋭8人が加わっている。

■ オフィシャルサイト <http://ww2.ctt.ne.jp/~ohyama/>

オーケストラ・アンサンブル金沢 | 管弦楽 |

Orchestra Ensemble Kanazawa



1988年、岩城宏之を創設音楽監督とし、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。石川県立音楽堂を本拠に、全国各地にて年間約100公演を行う。シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバルなどからの招聘を含む20度の海外公演を実施。設立時より現代作曲家の作品の紹介に力を注ぎ、若者の指導、邦楽との共同制作など育成・普及活動にも積極的に取り組む。これまでに90枚を超えるCDを発売。2022年9月より広上淳一がアーティストティック・リーダーを務める。

■ オフィシャルサイト <https://www.oek.jp>

合唱団員募集中! お問い合わせは谷崎(090-8093-7549)まで